

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	子育て短期支援事業			事業番号	014-044
担当部署名	子ども青少年	局	子ども青少年育成	部	子ども家庭

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(5) 厳しい環境にある子どもと家庭への支援の充実	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	③重大な児童虐待ゼロをめざした取組			
			無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(1)貧困をなくそう	ターゲット	1.3	
		寄与するKPI	有	取組	子どもの居場所確保の推進			
			無	指標名	—			
2	関連計画	堺市子ども・子育て支援事業計画						
3	事業開始年度	平成 8 年度	点検年度	令和 7 年度				
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	児童福祉法、子ども子育て支援法						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、各区				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	保護者による養育を受けることが一時的に困難となった児童又は急迫の場合等により保護を必要とする母子（短期入所）、保護者の仕事等が恒常的に夜間又は休日につながる家庭の児童（夜間養護等）	対象数	-		
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	家庭での養育が一時的に困難となった家庭の児童や、緊急一時的に保護を必要とする母子を、一定期間、養育及び保護を行うことで、安心して子育てができる環境の整備を図る。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	事業実施施設（乳児院（H28年度～）、児童養護施設及び母子生活支援施設）を指定し、委託により、当該施設において一定期間、養育及び保護を実施。				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	市内の児童養護施設、母子生活支援施設及び近隣の市外にある乳児院				
10	公民連携・協働事業					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標				
	子育て環境の整備				
	当該目標を設定した理由	当事業は、社会的事由もしくは経済的な理由により、一時的に養育や保護を必要としている児童もしくは母子を児童福祉施設で受け入れることで、安心して子育てができる環境を整備することを目的としているため。			
	目標に対する実績	延べ利用日数が大きく増加しており、必要な支援を行うことができています。			
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標
	延べ利用日数 (短期入所生活援助事業・夜間養護等事業)		令和2年度	令和3年度	令和4年度
		目標値	506	497	487
		実績値	348	732	
	達成率	69%	147%		
	当該指標を選定した理由	児童の一時的な養育や保護のセーフティネットとしての観点から、安定した受け入れ数を確保する必要があるため。			
	目標値の設定根拠・算出方法	令和元年度までは第1期堺市子ども・子育て支援事業計画、令和2年度以降は第2期計画に定める目標			

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	子育て短期支援事業	事業番号	014-044
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13 事業費 (a)	3,280	1,270	3,379	2,460	3,280
財源内訳					
国支出金	1,192	386	913	810	1,093
府支出金	1,192	386	913	810	1,093
市債					0
その他 ()					0
受益者負担金(使用料、手数料等)					0
一般財源	896	498	1,553	840	1,094
14 人件費 (b)	1,620	1,640	1,640	1,640	1,640
15 年間経費(c)=(a)+(b)	4,900	2,910	5,019	4,100	4,920

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源
16 事業費内訳	R3 決算	2,460	840	子育て短期支援利用業務委託	R3 決算		
					R4 予算	3,280	1,094
	R3 決算				R3 決算		
		R4 予算			R4 予算		
	R3 決算				R3 決算		
		R4 予算			R4 予算		
	R3 決算				R3 決算		
		R4 予算			R4 予算		
R3 決算				R3 決算			
	R4 予算			R4 予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
17 ① 延べ利用日数 (短期入所生活援助事業・夜間養護等事業)	日	348	732
② 上記①にかかる年間経費	千円	2,910	4,100
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	8,362	5,601
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 家庭での養育が一時的に困難となった家庭の児童や、緊急一時的に保護を必要とする母子を、一定期間、児童養護施設等で養育及び保護を行っており、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により大幅に利用が減少したが、令和3年度は令和2年度と比較して延べ利用日数が2倍以上に増加していることから、コロナ禍においても、就労、疾病、育児疲れ等のサポートとして、当事業が実施され、安心して子育てができる環境整備につながっていると見える。また、延べ利用日数の増加に伴い、令和2年度と比較して単位当たり経費は下がっており、事業の効率性が高くなったと言える。

実績値については、頻りに利用する保護者や、兄弟で利用する場合に実績が伸びる傾向にあり、一概に実績の増減で成果を判断することは出来ない面がある。

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19 基本計画③重大な児童虐待ゼロをめざした取組であるが、利用者の事由によって利用延べ日数が大幅に変動することがある。令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策の影響により延べ日数が大幅に減少したが、令和3年度においては、令和2年度と比較して延べ利用日数が2倍以上に増加した。

新型コロナウイルス感染症対策については、利用者への検温や消毒の徹底等の対策を通してコロナ禍でも利用しやすい環境整備に努めており、基本的には、短期入所生活援助事業、夜間養護等事業ともに必要な利用者に対し、それぞれの利用ニーズを把握し、安心して子育てができる環境は整備されている。